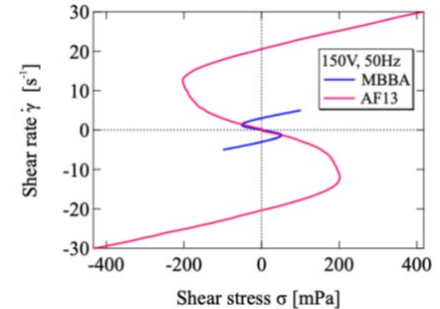
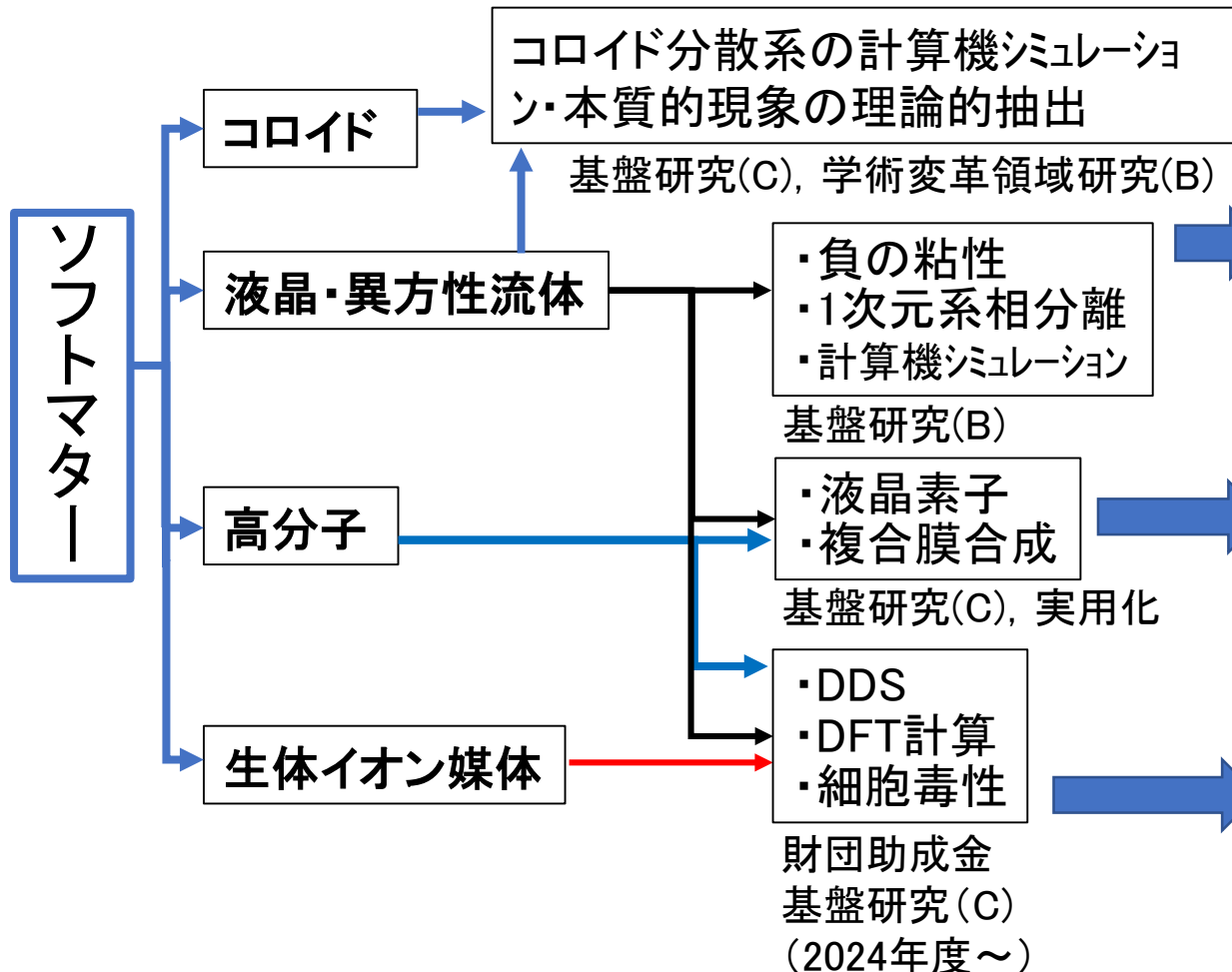


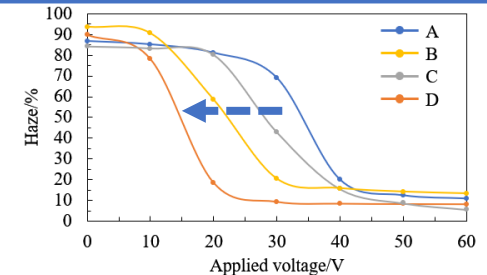
ソフトマター・粘稠流体科学とカーボンゼロへの展開

【本研究プロジェクト目標】

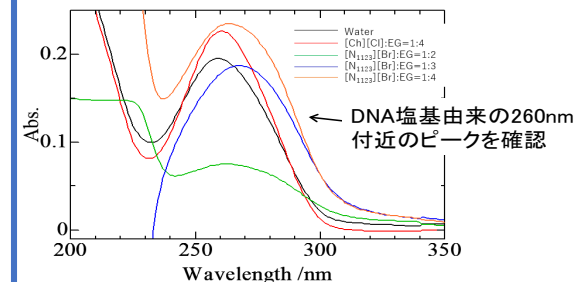
機能性流体の開発, 生体膜モデル物質の応用
物性・機能性の探索, シミュレーション, 実用化検討



液晶の乱流状態では見かけの粘性が負になり, せん断速度(shear rate)とせん断応力(shear stress)の関係はS字曲線を描く。最初に発見したMBBA液晶(青線)の5倍の大きさの負の粘性を示す液晶を発見した(赤線)。



駆動しきい値低下剤の開発(添加量の増加でA-B-C-Dの順にしきい値が低下)



すべてのDES中でDNAの溶解が確認